

# 第1学年道徳学習指導案

1. 主題名 弱さの克服〈3-(3)生きる喜び/弱さの克服〉
2. 資料名 「いつわりのバイオリン」 (出典「いつわりのバイオリン」 著 鴨井雅芳)
3. 主題設定の理由

## (1)ねらいとする価値について

中学校3-(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見出すように努める

人間とは、時には自分の欲望にとらわれ、醜さが出てしまうことがある。しかしながら、気高さも兼ね備えている。過ちを犯してしまうこともあるが、そのときこそ、人間の真価を問われるのだろう。自分の心の醜さを認め、反省し次につなげることで、それを克服する強さや気高さが自分の中にあることに気づくことができるだろう。

## (2)価値に関わる生徒の実態について

1年3組は、明るく元気で活発な生徒が多い。時には、はしゃぎすぎで適切に自分をコントロールできない生徒もいれば、切ないばかりに悔いを改めようとする生徒もいる。しかし、あどけなさが残り、素直な面もしっかり持ち備えている。

資料の主人公フランクの気持ちを追い、共感したり考えたりすることで、人間には心の弱さや気高さがあることに気づかせたい。またクラスの仲間と話し合い、考えを深め合うことを通して、自分自身と向き合い、自分の弱さと気高さについて考えさせたい。

## (3) 資料について

バイオリンづくりをしているフランクは、バイオリンづくりに情熱を燃やしていた。ある時、その評判を聞いて、ロビンはフランクに弟子入りする。ロビンは情熱も才能も弟子の中で際立っていた。それをフランクは認め、ラベルを貼ることを許した。あるとき、フランクはうまくバイオリンを作れず、ロビンの作ったバイオリンを、著名な演奏家に提供してしまう。著名な演奏家に演奏してもらうことで、自分のバイオリンの技術を世に知らせたかったからである。ロビンはそのことに驚くが、故郷に戻り、バイオリンづくりに専念し、フランクに感謝の手紙を書く。

ここにはフランクの人間としての心の弱さが表れている。フランクの心情を読み取ることを通して、自分自身の心の弱さに気づき、また自分に恥じない生き方についての考えを深めさせたい。

## 5. 本時のねらい

だれもがもっている人間らしい弱さを認め、弱さに負けず、自分に恥じない生き方を見出そうとする道徳的心情を育む。

## 6. 評価

- ・主人公の気持ちを自分自身に置き換えて考え、自分の言葉で表現できる。

〈発問後のワークシートへの記述および発表〉

- ・自分の持つ弱い心と美しい心や良心に気が付いた上で、自分の普段の生活に照らして考えることができる。また仲間の考えに耳を傾けることができる。

〈中心発問、展開後段における発表およびワークシートへの記述〉

7. 本時の展開

	学習活動・主な発問	予想される生徒の思い	教師の支援
導入	<p>1 自分の経験について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の心の弱さを出してしまった経験を聞いて、生徒にもそのような経験がないか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮病で体育の授業を休んだ。</li> <li>電車の中でお年寄りが立っていたが、寝たふりをした。</li> <li>カンニングをしそうになった。</li> </ul> <p>→後ろめたかった。後悔した。反省。</p>	<p>生徒の意見が出やすいように、教師の体験談も語る。</p>
展開前段	<p>2 資料を読んで考える。</p> <p>○フランクはどんな気持ちで、バイオリンづくりを引き受けたらう。</p> <p>◎フランクの手がロビンのバイオリンに伸びていったときの気持ちを考えよう。ペアで天使と悪魔役に分かれ、ロールプレイングをする。</p> <p>○フランクはどんな思いでロビンの手紙を読んだのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が有名になるチャンス、やったあ。</li> <li>このチャンスを逃したくない。</li> <li>無理してでも作りたい。</li> <li>時間がないから無理なんだけど。</li> <li>ロビンのだけで有名になるチャンス。</li> <li>作り方教えたのは自分だしいいよね。</li> <li>でもやっぱ人のものだし、良くないかな。</li> <li>ばれたらどうしよう。</li> <li>もやもやするなあ。</li> <li>自分が情けないなあ。</li> <li>自分が恥ずかしい。</li> <li>なんてロビンは優しいのだろう。</li> <li>こんな自分でもまだ尊敬してくれている。</li> <li>でも、有名になれた。</li> <li>有名になれたけど、もやもやする。</li> </ul>	<p>資料を範読する。</p> <p>一瞬手が止まったなどの動作も取り上げ、フランクの気持ちが1つではないことを生徒が気づくように助言する。</p> <p>生徒の意見が出やすいように天使のイラストと悪魔のイラストを黒板に掲示する。フランクの心の葛藤がよくわかるように、ロールプレイでいろいろな考えを引き出していく。</p> <p>手紙から、ロビンに対する謝罪の気持ちや後悔の気持ち、さらに無くしていた誠実な気持ちを取り戻したことに気づかせるように助言する。</p>
展開後	<p>3 自分に置き換え、考える。</p> <p>○自分がフランクになったつもりで、ロビンに手紙を書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あのときは、勝手にわたして、ごめんね。</li> </ul>	<p>フランク自身に自分を置き換えることで、考えを深</p>

段	<p>く。 （個人でワークシートに記入）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビンの優しさに自分が恥ずかしくなりました。あの時はごめん。</li> <li>・ずるいことをしても、良いことなかったよ。</li> </ul>	<p>めるように助言する。 ワークシートは教室内に掲示し、いろんな意見が取り入れられるようにする。</p>
終末	<p>4 教師の話聞く。 私たちの道徳を読み、この時間を感じたこと、考えたことをまとめてみよう。  自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に恥じない生き方をしたい。</li> <li>・やましいことはしない。</li> <li>・欲望にまけない自分になりたい。</li> </ul>	<p>自分に恥じない誠実な生き方について考えを深めさせる。</p>